

令和5年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 アミーゴ島根	代表者	百合澤 正志	法人・事業所の特徴	運営理念である「ゆったりと利用者様に寄り添い さりげない心遣いで 笑いにつなげよう」を常に心に置きながら、利用者様が安心して過ごせるよう努めている。また、温泉を利用し、ゆっくりと入浴して頂くことができる。
事業所名	大東ゆりさわ	管理者	三木 将徳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	1人	0人	1人	1人	0人	2人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	詳しく具体的な評価を行う。また、研修や勉強会を重ね、職員のスキルアップを図る。	目標としていた毎月の研修は果たせなかったが、外部からの講師を招いての研修が前年より多くできた。	行事での利用者様の様子、研修参加の状況などわかりやすく説明をして頂いていると感じています。	自己評価の具体性を高め、課題を職員間で共有し、研修や勉強会を行いスキルアップに努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	推進会議に、事業所内の見学を取り入れる。また、面会者以外の方も自由に見学できるような機会を計画する。	自由な面会とは至っていない。感染症の分類が変わったとはいえ無くなったわけではないので、引き続き対策は必要。	外個人の就労定着のためにも尽力されていて、積極的に監修参加されているように思います。	引き続き、推進会議に事業所見学を取り入れる機会を設ける。また、面会者以外の方も自由に見学できるような機会を計画する。
C. 事業所と地域のかかわり	交流センターや学校に出向いて、地域活動の情報を得る。推進会議で得た地域の情報を繋げる。	地元で開催される季節の行事に多く参加できた。また、近隣のイベント主催者からも案内を頂き感謝している。	地元のイベントに参加されている様子が分かった。利用している家族も喜んでいる。	地域活動の情報を得るための情報網を広げる。また、推進会議で得た地域の情報をアウトプットする
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者が事業所内だけの生活にならないように、積極的な地域活動計画を立てる。	地元から少し離れた観光地へも出掛けられた。また、職員も地域の情報収集に関心を向けていた。	出掛けた先でのサポートを職員さんにしていただき家族共々安心している。	地域の特色や伝統が守られている様子を見て頂き、自らもその地域の一員であるという事を感じていただく
E. 運営推進会議を活かした取組み	利用者や介護職員も運営推進会議に参加できるようにし、地域と関わりあうという意識を全職員が持つ。	利用者様、介護職員の参加には至らなかったが地域との関りの意識は向けられた。	活動や研修を積極的にされていると感じている。	引き続き、利用者や介護職員も運営推進会議に参加できるようにし、地域と関わりあうという意識を全職員が持つ。
F. 事業所の防災・災害対策	地元の方にも訓練に参加して頂けるように計画を立てる。	地域との連携した訓練は出来ない。引き続き努力が必要。	地域の方々との交流がわからない。	地元の組織と協同して防災・災害対策が連携できるように計画を立てる

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月18日(14:30 ~ 15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	4人	0人	13人

前回の改善計画	認知症ケアのスキルアップについて研修を含めた具体的な方法を情報収集し施策する。 新しく得たスキルに対してはトライ&エラーを繰り返し、その成果を職員間で情報共有を行いチームケアとしてのスキルアップに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症ケアについては認知症看護認定看護師を招いて研修ができた。 また、研修日がシフト休だった職員にも伝達担当職員を配置し全職員へ一定の教育ができた。 新しいスキルの実践についてはその整理ができてなく、有効だった支援とそうでなかった支援の判別と評価に至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8	3	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	2	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	10	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	3	2	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 新規の利用開始前にはカンファレンス又は朝礼にて情報共有をしている。 支援方法について困った場面が発生した場合、職員会議及び朝礼で話し合い対応策を協議できた。 また、連絡ノートを通じ、話し合いの場に不在だった職員にも内容を共有することができた。 利用初期の利用者様のついては不慣れな環境に配慮し、訪室・声かけを工夫し不満なども言いやすいようにしている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者様の不満や納得のいかなかったことが生じた場合の対応 家族・介護者の不安を職員で共有するには至ってなく、受け止められていない。 日常の変化に気付ける職員・気付けない職員、発言する職員・しない職員など、職員間にスキルの差がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者様だけでなく、家族・介護者が求めていることや不安に思っていることを職員全員が共有し、適切なサービス提供ができるように職員会議や朝礼などの場を通じて、随時方向性を確認していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月18日(14:30 ~ 15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	1人	2人	11人

前回の改善計画
普段の利用者様との会話から希望や要望をくみ取り、職員間で情報共有を行いつつアイデアを持ち寄ってレクリエーションに活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	4	7	2	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	5	7	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	6	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	4	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日常のかかわりの中で具体的な要望があった場合、実現の可能性を協議検討し職員同士で連携協力することにより対応が来ている。 利用者様からの要望やご様子から気付いたことは朝礼や職員会議を通じて情報共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス計画書の閲覧方式をとっていないため、利用者様の目標や計画が把握できていない。 人員体制の余裕がなく施設外での支援に応えられていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス計画書を閲覧できるようにし、職員が利用者様の目標やしたいことを把握できるようにする。 かかわった内容を職員間で共有できるように、他事業所のシートも参考にしながら様式を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月19日 (14:30 ~ 15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	8人	0人	13人

前回の改善計画
身体的な観察はもちろんであるが、精神面の観察力を養う。また、いろいろな疾患の初期症状や見極めのポイントなど、医療面の勉強会・研修会を行い介護職員の観察力のスキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
医療面に特化した研修は出来なかった。 この課題は次年度に持ち越し、引き続き取り組んでいく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	7	4	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	1	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	5	2	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	6	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	その都度、利用者様の状況に合わせて食事形態や入浴方法を変えるなど、対応を協議した上でサービス提供をしている。 過度に時間割りを気にすることなく、利用者様の状態や気分に合わせて対応が出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者様の様子について1日の終わりでのミーティングがない為、その日中に気付いた事などを他の職員と共有出来ないまま終業し介護記録に残せていない事項がある。 以前の暮らし方について情報収集が足りてなく把握出来ていない。 変化に気付いた時、一部の職員間での会話に ^{とど} まり、全体で協議する場 ^と にあげなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者様との会話で気付いた事や反応を言語化し、その日中に職員間で共有し記録に残せるようルーティンワークの時間配分を見直す。 また、いろいろな疾患の初期症状や見極めのポイントなど、医療面の勉強会・研修会を行い介護職員の観察力のスキルアップを図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 12月 19日 (14:30 ~ 15:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	4人	4人	12人

前回の改善計画	地域に何があるのか情報収集した上で、利用者様の興味や接点を勘案し、資源として活用できるよう勉強会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会の開催は出来なかったが、神楽、地元の祭り、紅葉スポットなど積極的に情報収集を行い参加する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	6	2	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	4	5	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	4	6	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	5	7	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の祭りの展示物コーナーに利用者様の作品を出展することができた。更に祭り会場へも出掛け、地域住民との交流もできた。</p> <p>地元中学生の「職場体験」を受け入れることで地域との関りを繋ぐ一端を担えた。</p> <p>案内をいただいたイベント施設へ出かけ、交流を深めることができた。</p> <p>送迎時に直接または連絡ノートを通じ、自宅での様子及び事業所での様子を相互情報交換している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>これまで利用してきた地域資源については活用できるようになってきたが、資源の定義について認識の違いもあり、新しい資源を発掘するに至っていない。</p> <p>泊まり中心の利用であったり施設中心の生活となると、地域や家族と頻りに交流を持つことが難しくできていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>利用者様が地域の一員と感じられるように、これまでの地域との関係を理解した上で活用できる資源の情報収集を行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 12月23日 (14:30 ~15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	2人	8人	1人	12人

前回の改善計画	介護記録の研修を行い、記録からでも変化が読み取れる記録が出来るようになる。
前回の改善計画に対する取組み結果	介護記録の研修は出来ていなく、次年度に持ち越し引き続き取り組んでいく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	4	4	6	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	8	2	3	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	4	1	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	5	5	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用予定の急な変更（例：当日に泊りの追加依頼など）にも対応できている。 日中、夜間を問わず急変時にも他業種で連携し柔軟な対応が出来る。 職員連絡ノート、夜勤申し送りノートを活用し、気付いた点や変化を共有している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 表現方法、言語化として変化が読み取れる記録になってない場合がある。 人員配置に余裕がなく「訪問」のニーズには応えられていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・介護記録の研修を行い、変化が読み取れる記録が書けるよう学習し、様態から言語化へのポイントをつかむ。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月23日 (14:30 ~15:00)

6. 連携・協働

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	2人	4人	12人

前回の改善計画	地域との連携が出来る情報収集を行い、高齢者でも参加できるものを選別し計画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことを受け、様々なイベントが開催され出来る限り参加が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等) の他事業所) との会議を行っていますか?	2	0	3	8	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	3	9	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	5	3	5	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	3	2	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域の活動やイベント (祭り、神楽、近隣のイベント施設、中学生職場体験) が再開または開催を受け積極的に参加することが出来た。 登録者以外の地域住民が訪れることはないが、見学の要望には応えている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自治体との会議には一部の職員 (管理者) の出席にとどまっている。 地域の各機関の活動には接点がなく参加できていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域との連携が出来る情報収集は引き続き行い、高齢者だけでなく職員のみでも参加できるもの (地域の掃除など) を探し計画する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月23日 (14:30 ~ 15:00)

7. 運営

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	2人	4人	4人	12人

前回の改善計画	地域との関わり方について、ミーティングなどを通じ職員へ周知・情報交換を行い積極的な参加を促す。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様も一緒に参加できるものについては積極的に行動できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	6	3	4	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	2	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	2	3	7	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	3	5	6	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 運営推進会議で得た情報(イベントや他施設でのこと)を取り入れ、運営に活かしている。 利用者様、家族様から「職員さんが良くしてくれる」「(当事業所のことを)気に入っている」などのお褒めのお言葉を頂いている。 苦情・要望があった場合は速やかに管理者に報告があり対応するか、ミーティングを通じて協議した上で対応するか、その内容によって臨機応変に出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事業所に対して意見を言える職員とそうでない職員とあり、発言力に偏りがある。 地域との協働した取り組みは出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 介護職として利用者様への支援法だけでなく、事業所全体の運営方法についてより良い方向へ向かえるように、考えて提案できる発言力を高める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月28日（14:30～15:00）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	2人	0人	13人

前回の改善計画
伝達研修の方法を確立し、全職員にもれなく受講できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
研修内容を職員から希望する課題をヒアリングし、各研修で希望した職員を伝達担当として置き、研修日に休日だった職員や夜勤職員へ伝えることができた。 また、伝達担当職員にとってもインプットとアウトプットをすることで理解を深めることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4	8	2	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	5	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	4	10	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	6	3	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職員から希望のあった研修を行い、その日休みだった職員にも伝達研修をすることで研修内容を漏れなく全職員に伝えることが出来た。 研修で得たことを日常のルーティーンに取り入れることが出来た。 転倒リスクのある利用者様には、都度協議しセンサーマットを設置するなど対応している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	地域連各会は感染症予防の為、開催されてなく参加出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	ヒヤリハット及び事故報告後の対応について、リスクマネジメントを含めた現行改善策を話し合うミーティングの時間を設け、起こった事案に対して深掘りし方向性を決めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 12月 28日 (14:30 ~ 15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 5人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	5人	4人	1人	13人

前回の改善計画
身体拘束・虐待については、繰り返し勉強する必要がある。 成年後見制度は使用者がいないが、知っておく必要はあるので、研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
対応が困難なケース（暴言・暴力が出る利用者様）についても、職員同士で対応法を話し合うことが出来た為、拘束や虐待に繋がることなく支援が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4	0	0	14
②	虐待は行われていない	10	3	1	0	14
③	プライバシーが守られている	9	4	1	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	1	5	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束、虐待、プライバシーの保護は職員同士の連携により出来ている。 個人情報についても、ファイルが見えないように目隠しを増設したり、夜間は事務所内の鍵付きキャビネットに収納するよう決めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者様への対応で「ちょっと待って」と言ってしまう場面がある。(スピーチロック=行動の抑制) 成年後見制度は機会を作らなく学習できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
行動抑制にならない声掛けや対応方法を学び、拘束や虐待にならない支援を継続して学んでいく。 成年後見制度は使用者がいないが、知っておく必要はあるので、研修を行う。	

